

セントラル堀田新聞

第91号
2ヶ月1回発行
令和7年7月10日

デイケア便り

うちわと水風船

大きな貼り絵が完成しました。制作期間二ヶ月。皆様頑張りました。



水風船の鮮やかな彩りがとても美しいですね！

「水風船は一番手が込み、手間がかかりました」と利用者様。

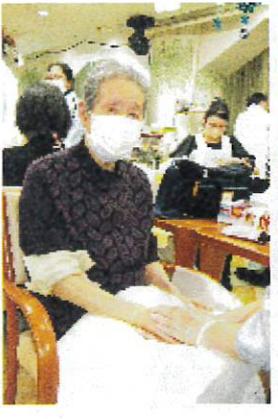


考えて、工夫して出来上

ハンドマッサージ

がった大作に、完成した時の喜びもひとしおでした。

介護美容研究所の方々に、施術に来ていただきました。腕から指先まで、丁寧に優しくマッサージ。あまりの心地よさに、会話も弾みます。
※米油を使用していました。



しおり作り

デイケアの一環で園芸活動を行っています。育てた花を押し花にしてへしおりを作りました。



吊るし飾り&カレンダー



7月カレンダー

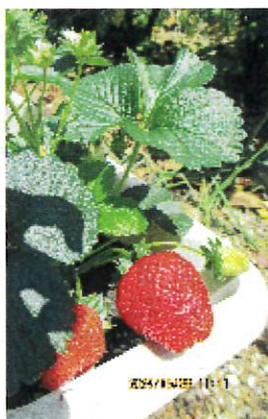
ハーブを育てています

デイスタッフ、尾関です。利用者様の園芸活動に感化され、ベランダでバジルを苗から育てています。香りが良く、料理に使って楽しんでいきます。



真っ赤ないちご 甘く実りました

三階の皆様が大切に育てた苺。「早く食べたいね」と声をかけて育ててきた成果が実を結び、赤く色づき、とっても美味しそうに実りました。



収穫したいちごを、さっそく皆で味わいました。「甘くておいしい」と利用者様の顔もほころびます。



二度目の収穫時はケーキを添え、ホイップをかけていただきました。



「絞るのがむずかしいね」



手伝ってもらいながら頑張りました。



夏に向けて成長中！

ゴーヤとミニトマト



二階ベランダでは、毎日こまめに水やりをしながら、ゴーヤ、トマトを育てています。



「今日も元気に育っているね」「実になるのが楽しみだな」と利用者様。夏にはゴーヤのカーテンができるかも？真っ赤なミニトマトの収穫も待ち遠しいです。



笑顔はじける

父の日カラオケ大会

二階でカラオケ大会が開催されました。



演歌・軍歌・昭和の歌謡曲などそれぞれが思い出の曲を熱唱。「昔を思い出して涙が出そう」と仰る方も。カラオケ大会を通して利用者様同士の交流も深まり、心も体も元気になる素敵な時間となりました。



看護学生 激励レク

六月に大学看護学部の学生さんが実習に来ていました。そこで利用者様のレクも兼ね、激励会を開催。



学生の皆さんも一緒に踊り、楽しそうにしてくれていました。



学生さんには施設を見学したり、利用者様とお話したり、一緒にレクを行ったりと、可能な範囲でお手伝いをしていただきました。



華麗な演舞 藤美天公会

六月二十九日、藤美会様による日本舞踊の披露がありました。ボランティアとして、何度か来て下さっています。



鯉のぼりケーキ

四・五・六階では、五月のこどもの日にちなんで、鯉のぼりの形のケーキ作りを行いました。

鯉のぼりの形に切ったスポンジの上にクリームを塗ってもらい、鱗に見立てたフルーツ盛り付けます。チョコの目玉を乗せたら完成です。



お味はいかがでしょう

か。



大胆に手づかみでパクつと。



ケーキを食べられない方にはプリンを用意しました。チョコの鯉のぼりの飾りがのつてます。



六月にはアジサイ饅頭を作るなど、季節に合わせたおやつ作りを楽しんでいます。

※掲載されている写真はご本人様、ご家族様の承諾を頂き、掲載しております。

栄養便り

暦の上で梅雨に入ることを入梅といい、入梅の時期は梅の実がおいしく実ります。今年の入梅は六月十一日で昼食に梅ご飯を提供しました。梅雨の高温多湿に負けない様、六月は新メニュー、夏野菜をトッピングしたキーマカレーを提供しました。



かき揚げ丼&キーマカレー

六月三十日は昼食に夏越の祓にあわせ、夏越ご飯を提供しました。邪気を祓うといわれる赤や緑色の旬の夏野菜で茅の輪をイメージした丸いかき揚げをご飯の上にのせたかき揚げ丼です。残りの半年間心身健康に過ごせることを願って。七月十九日土用の丑の日には、施設の昼食でも鰻丼を提供します。鰻は食事が減りがちな高齢者の効

率的なエネルギー補給になり、免疫力や筋肉の維持を助ける栄養素が豊富です。小骨があるのでよく噛んで食べましょう。

事務所だよ

こんにちは。事務員の真野です。あつという間に一年の半分が終わってしまいました。新年に立てた目標は何も達成できそうにないまま前半が終わってしまいました。

今年もとても暑い夏になりそうです。こまめな水分補給や適度な塩分補給など適切な予防をして、熱中症を防ぎ暑い夏を元気に乗り切りましょう。

施設の看板うさぎ ぽぼちゃんも暑い日には冷たい大理石タイルの上でだらーんと横になり暑さ対策をしています。



リハ通信

今回は五階の利用者様のリハビリの様子です。

個別リハビリでは、身体・認知機能の維持・向上を図り、よりよい生活に繋がるように支援します。

また、生活リハビリとして、居室やトイレ、廊下や食堂などの実際の生活の場での動作の評価・訓練も行っています。



集団リハビリでは、体や口腔の体操、風船やボールを使った運動や歌を通じ、心身の活性化や認知症進行予防を図ります。



今後も利用者様が心穏やかに、また生き生きと生活

できるよう、サポートしていきたく思っています。

編集後記

先日大学の卒業三十年で同窓会がありました。卒業後会っていない人が多く分かるかどうか不安でしたが杞憂でした。「懐かしー、久しぶり」と声を掛け合い、すぐに学生時代のノリに。当時の呼び名で互いを呼び合いどのテーブルも話は尽きず二次会、三次会と深夜までにぎやかでした。

三十年の間には様々な変化や苦労がありそれを乗り越えた姿ではありませんが、学生時代とそう変わらなく見えるのは不思議です。同期が頑張っている姿を知り、自分もまた頑張ろうと思いい名古屋に戻ったのでした。

施設長 西本潤子



利用者様が育てた朝顔が咲きました